

実践事例

実践効果



授業の様子

ねらい：
県の主な産業の様子について、地図などの資料をもとに調べ、県全体に見られる主な産業の概要や分布の特色をとらえることができる。



利用機器・ソフト
タブレット1台 アクセスポイント1台
電子黒板 eライブラリアドバンス
SKYMENU Class

■ 学習展開

学習の流れ	学習活動	利用機器・ソフト
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○都道府県クイズを行う <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県の地形を見て都道府県名や県庁所在地を確認する ○学習課題を確認する 	タブレット eライブラリアドバンス (いろいろなカード帳) 電子黒板
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○地図を見て、広島県の主な産業(農林水産)を地図(ワークシート)にまとめる ○地図からわかったことを書き、発表する <ul style="list-style-type: none"> ・県の北・南・東・西で、それぞれどんな産業が盛んか ・広島県の産業生産額が多いのは何か 	タブレット 電子黒板
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○広島県の産業の特色をまとめ、振り返りをする 	タブレット 電子黒板

■ 授業の様子



いろいろなカード帳で都道府県クイズ



広島県内で盛んな産業を考える



産業の特色を発表

Point

ICT機器活用の効果

- ▶ フラッシュ教材を活用し、テンポよく繰り返し学習することで、リズムにのって47都道府県名と県庁所在地を覚えることができる。
- ▶ リズム良く練習を行うことで、児童が楽しみながら学習できる雰囲気を作ることができる。



兼崎 素子 先生にお話を聞きました



社会科の学習の導入でドリル学習を行っています。年間を通して都道府県名や県庁所在地のドリル学習を行っているので、どの子も定着してきています。eライブラリアドバンスのいろいろカード帳は、都道府県名や県庁所在地を地形と合わせて学習できるのがとてもいいと思います。

子どもたちも地名だけを覚えるだけでなく、形も合わせて覚えるということ意識づけることができました。

ICT支援員に授業の様子を聞きました

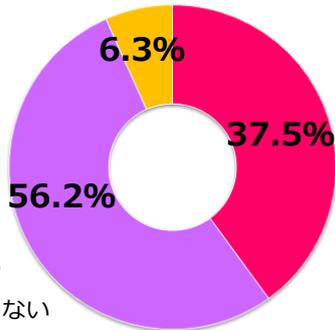
電子黒板にフラッシュカードで問題が提示されると、多くの児童が一斉に手を挙げている姿が印象的でした。児童全員が自信をもって解答しており、繰り返し学習することが知識の定着に繋がっていることを実感できました。また、ワークシートをタブレットで撮影し、電子黒板に提示することで発表者の意見を真剣に聞く姿が多く見られました。

授業後に児童の学習意欲がどのように変化したかアンケートを取りました

Q1 eライブラリアドバンスを使った学習は楽しいですか？

93.7%の児童が「とても楽しい」「楽しい」と答えています。

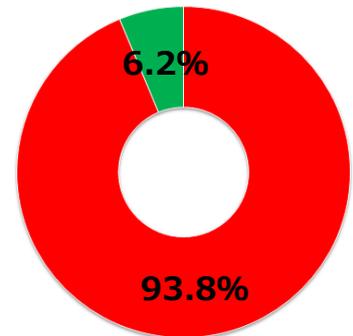
■ とても楽しい ■ 楽しい
■ あまり楽しくない ■ 楽しくない



Q2 eライブラリアドバンスでまたドリル学習をしたいですか？

93.8%の児童が「また学習したい」と答えています。

■ また学習したい
■ もうしたくない
■ あまりしたくない



Q3 eライブラリアドバンスを使って、良かったことはどんなことですか？



都道府県クイズはみんなで1人ずつ答えていくことがとても良かったです。タブレットでは、自分があまりわからないことを自分で調べながら学習できます。

都道府県を形で覚えることができるので良かったです。ドリルをすると、わからなかったことがわかるようになりました。

都道府県クイズは、何回も練習することができて、わからない県の名前を覚えることができました。